

令和4年6月15日

記録：関根 浩

令和4年度 第1回 教育課程編成委員会 議事録

1. 日時 令和4年6月10日(金) 13時30分
2. 場所 大川学園医療福祉専門学校 2階会議室
3. 出席者 島村和男（埼玉県柔道整復師会西部支部支部長、島村接骨院院長）
高橋誠一（彩の森接骨院院長）
平澤淳校長 霞孝行柔道整復学科学科長
岡村忠彦教務部長（柔道整復学科） 関根浩学務部長

4. 議題

- ① 校長挨拶
- ② 委員委嘱状交付
- ③ 教育課程編成に係る現状と課題等
- ④ 事務連絡他
- ⑤ その他

5. 校長挨拶

本日は、お忙しい中、ご来校いただきありがとうございます。新入生も含め、ちょうど軌道に乗ってきた時期でもあります。何よりも幸いなことは、対面授業を維持できているという点です。すでに3年生は、国家試験の勉強に励んでいます。本日は、色々なご指導をいただけるよう、よろしくお願い致します。

6. 教育課程編成に係る現状と課題等

(1) 令和3年度の報告

①学外臨床実習

令和4年2月から3月にかけて、学外臨床実習を実施しました。18名の学生が1週間の実習を無事に行ってきました。中には、白衣を忘れる学生がいて、ご迷惑をお掛けした施設様もありました。全体的には、大変意欲的に取り組んでいたようで、素行や態度、姿勢等についても、ご迷惑を掛けて実習中止になるような学生はいなかったようですが、知識については、もう少し高めていただきたいとの厳しいご意見を頂戴致しました。また、数名の学生については、アルバイトが決まるケースや、卒業後の方向性が決まったと報告してきた学生も現れました。今回の実習でご指導していただきましたおかげで、卒業への明確な意識や、モチベーションの向上にも繋がった学生がいることが良い結果となりました。今年度の2年生に対しても同じように学外臨床実習を実施していきたいと考えています。

②国家試験

令和3年度の国家試験受験者は、現役生6名、既卒者4名、合計10名でした。その内、合格者は、現役生4名、既卒者2名、合計6名と60%の合格率という結果とな

りました。全国平均は、62%と非常に低い合格率でした。国家試験の合格率の低さは、難易度が高くなっている訳ではなく、全国的に入学時の低学力が大きな問題となっています。そのために当校でも、低学力者に対して補講等を行っていますが、現状ではあまり効果が得られていない結果となっています。国家試験浪人が合格率を下げるといった要因も確かですが、現役学生の合格率も決して高い水準ではありません。令和4年度は、令和3年度と同じような結果にならないよう指導していきたいと考えています。

(2) 令和4年度の取り組み

①学科運営

令和4年度の在籍者数は、定員30名のところ、1年生が26名、2年生が19名、3年生が25名で充足率77%程度となっています。令和3年度の国家試験合格率の結果をみると、学習への取り組みについては、7月の前期試験終了時に成績が振るわない学生に対しては、厳しく指導する必要があると考えています。1年生は、前期試験において、成績不良者に関しては、保護者を含めての現状報告・進退・生活態度の改善を指導していきます。2年生は、1年次末の進級発表前に行った成績不良者に対して、保護者を含めた現状報告・進退・生活態度の改善を指導した結果を受けて、授業後の週3~5回の補講を実施しています。3年生は、前期末試験の結果を重視し、成績が振るわなかった学生に対しては、後期の勉強については、かなり強制的な方法で臨むことが必要となります。勉強に厳しく取り組む姿勢が身に付かなければ、3年次の卒業前になっても、自身に厳しさを課すことができず、卒業に至らない結果となることは間違いないと思われまますので、強制的な方法で国家試験までの間、指導していきたいと考えています。

②学生募集

令和4年5月より、高校生や保護者の方々に対し、リアルな学生の意見等を聞ける機会となるようにと学生スタッフを採用し、オープンキャンパスを開催し、入学への足掛かりになればいいと考えています。近年、入学生で接骨院に行きたいという学生が増えてきています。

③新人教員の採用

令和4年4月より非常勤教員を1名採用しています。今後、教員が高年齢化になっていくこともあり、20代の教員を採用し、様々な点で不安もありますが、学生により近い目線で接することができるような教員を配置することが狙いです。

④年間行事予定

10月に開催予定だった大川学園祭は新型コロナウイルス感染防止の為に、中止となりました。国家試験対策としての模擬試験を全部で3回実施します。年間行事予定内の変更となる日程としては、10月13日(木)の認定実技校内審査が、10月30日(日)に変更、7月24日(日)の入間郡市柔道大会は変更になったと思われるが再度確認させていただきます。ここ数年、新型コロナウイルス感染防止の為に、日本柔道整復師会の説明会も中止になっていますが、今年度の日程もまだ未定とのことです。

7. 意見・質問等

- ・学外臨床実習等で、しっかりと挨拶ができている学生は、勉強もできると思ったが、そうでもないのか。

⇒ はい。挨拶ができていても決して勉強ができるという訳ではございません。令和4年度の3年生は25名が在籍しています。12月中旬と1月中旬に卒業試験、また、再試験が1月下旬にあります。その内、2回の卒業試験を合格しないと卒業を認めないというルールがあります。今年度は、目標として20名をどうにか合格させたいです。卒業試験の結果がギリギリの場合には、2月中、学校に登校させ、缶詰め状態で勉強させた場合も過去にはありました。「初詣に行ってきましたあ〜」というようなInstagram等のSNSに投稿している学生は、国家試験が不合格になると思われます。年末年始を遊ばせないような指導をしていきたいと考えています。

- ・学外臨床実習で、学校周辺の接骨院等を見ることができたことは、学生にとって良かった点だったと思う。当接骨院でも学生が1週間の実習を行っていたが、実習を行って行くにつれて、患者様に対応する態度も良い方に変わっていったように見えた。。接骨院としても、今の学生達への教え方について勉強になり、プラスになった。

6 次回開催予定 令和5年3月1日(水) 13時30分 2階会議室

令和 5 年 3 月 15 日

記録：関根 浩

令和 4 年度 第 2 回 教育課程編成委員会 議事録

1. 日時 令和 5 年 3 月 1 日(水) 13 時 30 分
2. 場所 大川学園医療福祉専門学校 2 階会議室
3. 出席者 島村和男（埼玉県柔道整復師会西部支部支部長、島村接骨院院長）
高橋誠一（彩の森接骨院院長）
平澤淳校長 霞孝行柔道整復学科学科長
岡村忠彦教務部長（柔道整復学科） 関根浩学務部長

4. 校長挨拶

本日は、年度末のお忙しい中、お越しいただきありがとうございました。コロナ禍でもありましたが、本校は、順調に授業を行うことが出来ました。3 月 5 日(日)が柔道整復師国家試験、3 月 9 日(木)卒業式となっています。本日は、先生方に色々ご意見を頂戴いただければありがたいと存じます。

5. 教育課程編成に係る現状と課題等

(1) 令和 4 年度の報告

①教育内容について

コロナ禍でしたが、大きく教育内容や方法を変更せずに継続して授業等を行うことが出来ました。実技や実習など人と人とが接触することがある科目でも、感染が拡大することもなく授業を行うことも出来ました。実技認定審査については、令和 4 年度から通常審査を再開しているので、今後は徐々に平時の状態に戻ると思われます。

②進級および卒業について

受験者が 7,000 人もいた国家試験も最近では 4500 人程度、昨今の国家試験合格率や就職状況から、卒業・国家試験の合格が高いハードルとなっているように見受けられます。今までは、3 年生に進級すれば奮起できた学生達も、最近では、その傾向が少なくなり、1 年生・2 年生の進級についても非常に厳しい学生が見られます。その際、状況を十分に理解していただく為に本人に保護者も含めた 3 者面談を実施している。

③学外臨床実習

今年度も 2 年生に対して学外臨床実習を実施します。学外へ行くことにより学生達も勉強になり、実習施設様にはご指導等ご苦勞をお掛け致しますが、ご協力をお願いしていただいている次第でございます。また、新たに、病院や介護施設も実習施設として、ご協力いただけることとなり、今後も各方面とも実習施設を充実していこうと考えています。

(2) 令和 5 年度の取り組み

①学生募集

今まで法人広報室で行っていた学生募集を、令和 5 年度から入試募集委員会を中心として専門学校単独で行うことになりました（入試募集委員長は霞が担当）。

令和 5 年度の柔道整復学科 1 年生は、24 名の予定です。

②学外企業との連携

・第 2 新卒者の就職

国家試験合格者の減少に伴い、各接骨院等は、新卒者確保が厳しい状況が続いている為、ある接骨院から、柔道整復師の離職者を対象に、柔道整復の仕事へ復帰できるようなかたちで、卒業生の掘り起こしが出来ないかどうかとの相談を受けました。よって、同窓会等でお知らせし、学科として、取得した資格を活かせればと思ひ協力する予定です。

・接骨院等による研修会当の実施

進級や卒業のハードルが高いことについて、学生のモチベーションを向上させる為の対策の一つとして、卒後の仕事について、いくつかの接骨院等に、働き方・待遇・スキルアップなど具体的なイメージがもてるような講義を予定しています。ここ数年の卒業生達は、コロナ禍により、日本柔道整復師会の研修会はなく卒業をしていきます。

③教員の配置

令和 5 年度より専科教員の教授範囲の一部が見直され、解剖学（運動器）、運動学（運動に関する内容）、リハビリテーション医学（運動器リハビリテーション）などに拡大されました。教科によっては、外部教員だと難しい授業となり、授業についていけない厳しい学生が出てきてしまうことも過去にはありました。

6. 就職状況・学生アンケート結果等

①就職情報

現在のところ、44.4%の学生が内定をしています。毎年のことですが 4・5 月になれば 100%に達すると思われれます。コロナ禍でもありましたが、昨年 9 月 21 日（木）にセリアジョブ様ご協力の就職ガイダンスを実施することが出来ました。それにより、就職に結びついた学生もいました。

②学籍関係

現在、9 名の退学届を受理しています。

新 1 年生の状況は、3 月 5 日(日)が Web 出願日なので途中ですが、柔道整復学科 23 名、介護福祉学科 37 名、合計 60 名以上となる予定です。なお、辞退者が介護福祉学科に 1 名いての 37 名です。

③学生アンケート調査結果

昨年 12 月から今年の 1 月にかけて、学生達にアンケートを実施しました。中には、厳しい意見もありましたが、検討する項目等については、運営委員会や職員会議等にて教職員で話し合いをしていきたいと考えています。また、(4)の「あなたが本校に決めた理由…」という質問の回答を令和 5 年度の広報活動に活かしていきたいと考えています。

7. 意見・質疑応答

①日本柔道整復師会の研修会は行っていないのですか？

→ はい。埼玉県からの新型コロナウイルス感染防止対策の指導もありコロナ禍により行っていません。

埼玉県柔道整復師会西部支部支部長の島村和男様より、日本柔道整復師会へ研修会の件を色々とお話しておきます。

②実習生が来るということで患者様にとっても新鮮で、患者様の中で、実習生の姿を見て接骨院の先生になりたいと思う患者様も現れ、その実習生は、大川学園医療福祉専門学校から来ている学生ということで、募集にも結びつくと考えられます。

③入学金補助などの社会人の入学枠は設けていますか？

→ 社会人だった学生が2名ほどいますが、カリキュラム変更により、働きながら通学することが条件的に厳しいと思います。

④以前に比べ国家試験の合格率は下がっているが…？

→ 問題のレベルは変わっていません。

⑤実習では、保険制度の話もするが…？

→ 現役で入学してきた学生達には難しく厳しい話だと思われる。

授業内で保険制度について色々とお話していただきたい。

8. 次回開催予定 令和5年6月9日(金) 13時30分 2階会議室

この日は、教育課程編成委員1名が都合が悪い為、に後日、日程調整を行い決定する。